

意見4 島しょ部の割高な行政コストの反映

【現状】

本県の離島は、瀬戸内海から外海の宇和海にかけての広い海域に大小様々な島が点在し、その数は、有人島36、無人島162、合計198の島に及んでいる。

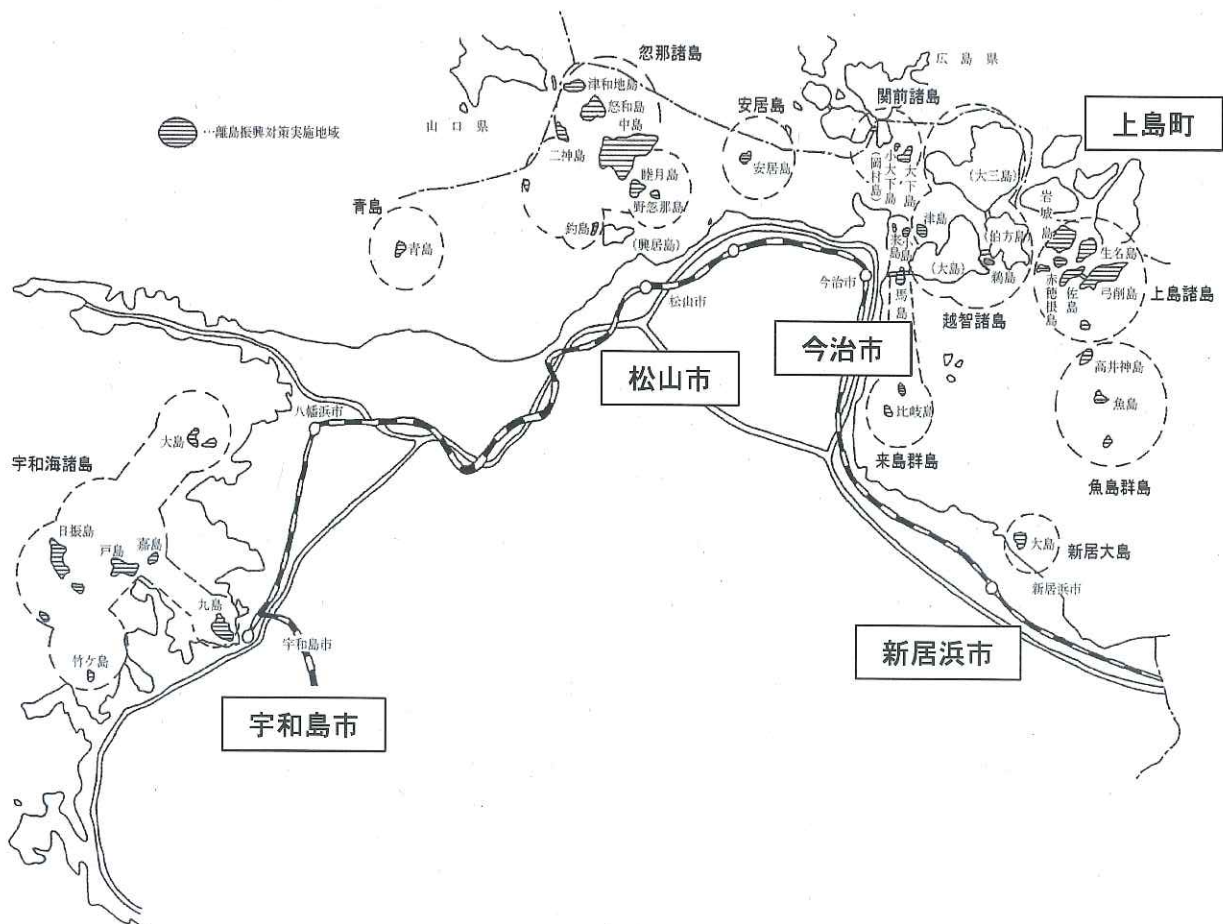
このうち、離島振興法による指定離島は、10地域79島（うち有人島31）、面積92.28km²、人口16,830人で、有人島数は全国2位の水準にある。

上島町では、離島4町村が合併し、島間の移動頻度が高くなり、12市町村が合併した今治市では、陸地部旧市町村と島しょ部の旧町村との連絡事務も新たに発生している。また、島しょ部では競争原理が働かないことなどもあり、行政効率が悪く財政的な負担が大きくなっている。

市町別の有人島の人口、面積

市町名	有人島数	人口(人)	面積(km ²)	市町名	有人島数	人口(人)	面積(km ²)
松山市	9	5,998	44.87	新居浜市	1	257	2.13
今治市	12	23,315	139.62	大洲市	1	19	0.49
宇和島市	5	1,828	11.24	上島町	7	7,648	28.81
八幡浜市	1	295	0.75	合計	36	39,360	228

(注) 離島振興法で指定されていない有人島も含む。



松山市の事例

松山市の島しょ部は、有人9島（興居島、釣島、睦月島、野忽那島、中島、怒和島、津和地島、二神島、安居島）と多数の無人島で構成されている。全島とも急峻な地形を有しており平野部が少ないことや島しょ部にかかる特殊事情により、市内よりも経費が多くかかっている。

特殊事情

- 競争性がなく資材の価格が割高
- 公共工事に必要な資材不足

<主な例>

(例)中島斎場火葬炉棟新築工事 工事費 約1億2,000万円
 うち、生コンクリート工事(島しょ部影響増分) 約570万円
 うち、資材運搬費 約620万円
 生コンクリートの価格が市内では約12,000円/m³であるが、島しょ部では約22,000円/m³となり割高
 その他、資材を運搬するための費用が割高
 工事費約1億2,000万円のうち約1,190万円が島しょ部であるため割高

(例)道路建設にかかる費用

島しょ部は山を切り開いて工事をすることもあるため、市内の平らな場所を道路建設するものと比べ割高
 また、資材運搬費がかかるため割高
 松山市内A路線……………25,000円/m²
 島しょ部(旧中島町)B路線……………35,000円/m²

上記以外で適償性や補助のない主な事業は次のとおりである。

島名	面積(km ²)	人口(人)
興居島	8.49	1,279
釣島	0.36	70
睦月島	3.83	276
野忽那島	0.92	141
中島	21.17	3,213
怒和島	4.81	446
津和地島	2.88	383
二神島	2.15	166
安居島	0.26	24
島しょ部合計	44.87	5,998
松山市全体	429.05	517,231



○中島総合文化センター管理 31,268千円
 旧中島地域を中心とする地域の生涯学習を支援

○島しょ部航路運賃助成事業 17,000千円
 島しょ部居住者による通院・妊婦健診等で航路を利用した場合、その経費を一部補助することで、負担軽減を図る。

○釣島地区海水淡水化装置運転管理 13,771千円
 及び安居島共同給水施設維持管理 4,607千円
 安定的な生活用水が困難なため、共同給水施設を設置し、離島の生活環境の向上を図っている。
 ・釣島(70人)……海水淡水化装置による水の供給
 ・安居島(24人)……給水船による水の供給

○中島地区簡易水道事業繰出 185,000千円
 旧中島地区については、簡易水道による水の供給を行っているが、不採算のため、一般会計から赤字補てんを行っている。



○し尿収集管理 34,625千円
 中島地区のし尿及び浄化槽汚泥を適正に処理するため中島衛生浄化センターから松山衛生事務組合立浄化センターに運搬

○離島診療連絡船維持管理 11,402千円
 旧中島地域の中島以外の5島の地域医療確保のため、「なかじま病院」の医療従事者を5島の離島診療所へ輸送する離島診療連絡船の維持管理と民間事業者に運行を委託



○消防救急艇維持管理業務 56,683千円
 島嶼部への救急対応や沿岸地域での消火・救助活動を行う救急自動車搭載できる船舶の維持管理業務(島しょ部には救急車がない)



※H24年度予算ベース

【意見】

島しょ部に係る行政コストを算定に反映(地域振興費(人口・面積))

島しょ部を抱えることで標準団体よりも余分にかかる行政経費について、現行制度では十分に算定に反映されていないため、見直しを行う必要がある。

1 島の数を補正係数に算入

島しょ部人口について、現行の算定では、「地域振興費(人口)」の普通態容補正Ⅲにおいて属島人口に係る補正がある。しかし、島内人口が基準となっており、島数が考慮されていないため、人口の少ない有人島が点在しているようなケースで、行政コストが割高になることが反映されない。そのため、島の数も補正係数に算入する。

「地域振興費(人口)」の普通態容補正Ⅲ(隔遠地補正)のうち「属島に係る補正」の見直し

(現行算式)

$$\frac{A \times \text{行政経費}}{\text{人口} \times \text{単位費用}} \quad A: \text{島しょ人口}$$

合併補正の考え方を準用

(改正案)

$$\frac{A \times \text{行政経費}}{\text{人口} \times \text{単位費用}} \times \left[\frac{B-1}{4} + 1 \right]$$

A: 島しょ人口
B: 有人島数
島の数による行政コストの割増

2 島しょ部の投資的経費の算定

「地域振興費(面積)」で国土保全費や農山地域の振興経費が算定されているが、島しょ部の道路、港湾、漁港の整備の経費が割高になることが考慮されていない。そのため、「地域振興費(面積)」における投資的な経費の算定においても、属島面積に係る補正を行う。

(現行算式)

(現行の「地域振興費(面積)」投資態容補正)

$$\left[\frac{B}{A} \times a + \frac{C}{A} \times b \right] + D$$

(改正案)

$$\left[\frac{B}{A} \times a + \frac{C}{A} \times b \right] + D + \boxed{E}$$

A: 種別補正後面積
B: 可住地面積
C: 国勢調査の人口集中地区面積
D: 河川管理権限移譲分経費相当分係数
E: 島での道路、港湾等の整備経費が本土に比べて割高になる分の係数(属島面積に応じた係数)
a, b 省略

3 「地域振興費」の普通態容補正Ⅲ(隔遠地補正)に、実態を踏まえた経費の追加

ごみ、し尿収集経費については、施設の統廃合等により、効率化に努めているが、陸地部の自治体と比較すると、多大な輸送経費を要しており、増額が必要。

また、離島において必要不可欠であり、消防力の整備指針にもある「消防救急艇」の費用を「その他の経費」に追加する。

(現行)
○ 離島
7 増加経費(千円)
ア 旅費、通信運搬費 H
イ <u>ごみ・し尿収集運搬経費にかかる増加経費</u> I
ウ <u>その他の経費</u> J
(へき地学校における給食の実施に要する経費の不足額等による増加経費)

(平成23年度決算)

市町名	消防救急艇数	消防救急艇に要する経費(千円)	うち特定財源	備考 特定財源の内容等
松山市	1	43,131	0	
今治市	1	5,739	0	
上島町	2	37,898	17,500	起債に係る交付税算入額